

各務原市議会議員 大竹 大輔

かえで通信

平成28年10月
第14号

発行人
大竹大輔を育てる会
会長 伏見 幸久



大竹 大輔

ご挨拶 秋の深まりを感じる今日この頃です。
皆さまは、どんな秋をお過ごしですか？

朝の空気が少しひんやりして、秋の深まりを感じる今日この頃です。
夏の暑さがうそのようですね。季節の変わり目は体調を崩しやすいので風邪などひかないようご自愛ください。
また、今年の秋は、台風が多数、上陸・接近しております。停電や災害時の備えを日頃から確認することが大切です。今一度、避難持ち出し袋の中身や懐中電灯が点灯するかチェックしてみてください。
さて、夏に引き続き、今月も各地で様々なイベントが開催されます。運動会、秋の収穫祭や神事など盛りだくさんです。
運動会は毎年伺わせて頂いておりますが、一年一年健やかに成長する子どもたちから明日への活力を頂くと共に、子どもたちが「いつまでも住み続けたいまち、かかみがはら」と思ってもらえるよう益々精進することを強く思うところです。
議員の職務の1つに、地域とのパイプ役があると思いますが、市民の皆さまのライフスタイルが多様化する昨今では、パイプ役以外にも、議員には「会話力・提案力・行動力」の3つの力が益々重要になってくると考えます。
この3つの力を常に磨くことを念頭に置き、今月も地域に根差した活動と共に、子どもたちに夢を育み高齢者の皆さまに安らぎあるまちづくりに全力で取り組んで参ります！



平成28年第2回定例会9月議会報告

平成27年度の総括となる一般会計、特別会計の決算が上程。その他、当面の行政需要に対応する平成28年度予算補正等が上程されました。

平成28年9月12日から10月7日までの26日間の会期にて、平成28年第3回各務原市議会定例会が開催されました。平成27年度決算の認定6件、平成28年度予算の補正3件、条例の改正3件など計23案件が上程され、認定、可決、承認されました。
一般質問では、次の3項目について質問致しました。

職員の研修や視察によるスキルアップと今後の採用について

問(大竹議員): 職員の研修や視察への取組みはどのようになっているか。また、どのような成果がでているか？

答(浅野市長): 新規採用職員研修をはじめ、役割に応じて求められる知識や能力を習得する「階層別研修」、「接遇研修」や公務員倫理研修などテーマ別に必要に応じて行う「特別研修」、市町村アカデミーなど個々に必要なスキルを学ぶ「派遣研修」などを実施している。その他、グループでの提案に取り組む研修も行って、「授乳室の設置」や「婚姻届記念撮影パネルの設置」が提案され、実現している。

問(大竹議員): 今後の職員の研修や視察への取組みはどうか？

答(浅野市長): 必要な視察については継続的に行い、現在の業務に必要な研修だけでなく、法律知識などの専門性の高いメニューの提供や他団体への研修派遣、政策研究研修などを継続して行うとともに、再任用職員の知識やノウハウの効果的な伝承等も行うよう努める。

問(大竹議員): 本市はインターンシップを実施しているがどのように行っているか。また、その成果は？

答(浅野市長): インターンシップについては、申し込み頂いた学生本人の希望に基づいて、受入日数、受入部署等を決定し、職場での実習を行っている。公平性の観点からインターンシップの参加を採用に影響させることはできないが、職場を経験した学生からは「各務原市役所の仕事にさらに興味を持つことができた」など感想を頂いている。また、参加した学生の中には、実際に各務原市職員採用試験を受験した方もいる。

公営墓地の実施調査の進捗について

問(大竹議員): 平成28年度に実施したアンケートの結果は？また今後、公営墓地に対して、どのような対策を検討されているのか？

答(永田環境水道部長): 本年7月に墓地に関する市民アンケート調査を市内1000世帯の世帯主を対象に、40歳代、50歳代、60歳代の方にそれぞれ300人、70歳代の方100人に対し、無作為抽出により調査票を発送し、477人といった多くの方から回答を頂いた。「墓地を所有しているか」を尋ねたところ、「所有している」は60.1%、「所有していない」は34.8%と回答を頂いた。また、「所有している」方に対し、継承についてお尋ねしたところ、「継承の心配はない」方は39.7%「継承者はいるが、負担をかけたくない」方は40.7%、「継承者はいない」方は10.3%と回答をされた。また、「もし、あなた自身が新たに選ぶとしたら、どのようなお墓を望みますか」と尋ねたところ、従来型の個々に区画された和型や洋型のお墓を希望される方が35.4%あったが、合葬型や樹木葬型といった継承の心配がいらぬ共同で祀られるお墓を希望される方が32.9%に上った。その他、様々なご意見を頂いた。調査結果の分析や市内の墓地事情を踏まえ、亡くなられた方が将来にわたり安心でき、継承の心配が